



# 大分の青少年

## 「大人が変われば 子どもも変わる」県民運動

青少年問題の解決にあたっては、まず大人が青少年のお手本として模範を示すことが必要です。大分県青少年育成県民会議と市長村民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる県民運動」に取り組んでいます。

県民会議では、今年も7月第三金曜日（青少年の日）に、JR大分駅前であいさつ運動を実施し、あいさつを通して子ども達を地域で守り育てるという意識の高揚を図るとともに、大分県青少年の健全な育成に関する条例に定める「青少年の日」や「家庭の日」、青少年のフィルタリング利用等について広報・啓発を行いました。

今後も「大人が変われば子どもも変わる県民運動」の実施をとおして、青少年の健全な育成と、青少年を育てる地域づくりに取り組んでいきます。



JR大分駅前でのあいさつ運動の様子

～子どものお手本は、あなた(大人)です～

### 青少年の非行・被害防止全国強調月間

7月はこども家庭庁主唱の『青少年の非行・被害防止全国強調月間』です。県では、あいさつ運動のほか、県下一斉立入調査など青少年の有害環境の調査を実施しました。

また、各市町村民会議でも大会や総会、あいさつ運動、補導活動など、青少年の非行・被害防止のための活動を実施しました。

11月の「秋のこどもまんなか月間」でもあいさつ運動をはじめとした各種活動を実施します。



大分県青少年育成県民会議では、県民運動の啓発や広報に力をいれ、青少年の健全育成を進めています。

その一環として県民会議加盟団体及び市町村民会議の青少年育成の取組をFacebookや広報誌などを通して広く県民に広報していきます。広報を希望される団体は、活動の様子がわかる画像やコメントを事務局（下記Eメールアドレス）までご送付ください。



# 少年の主張

## 大分県大会



今年度は県内27校から1,868作品の応募がありました。8月22日、佐伯市鶴見地域コミュニティセンターで開催された大分県大会では、第1次、第2次審査を経て選ばれた中学生が、それぞれ日常や学校生活の中で体験したことや感じたことを発表しました。

大会発表者作品

### 最優秀賞

心の言葉

藏下 祥貴 宇佐市立宇佐中学校2年

### 優秀賞

過去の私と今の私

河野 夏心 豊後高田市立田染中学校3年

日常が僕を勇気づけてくれる

佐藤 大樹 別府市立別府西中学校1年

### 優良賞・大分県教育庁賞

私にとって大切なもの

秦 聖来 佐伯市立直川中学校2年

### 優良賞・共感賞

空気の読めない自分

運天 貫大 竹田市立竹田中学校2年

### 優良賞

優しい世界に

足立 優佳 竹田市立直入中学校1年

空手でわかった努力の大切さ

木許 樹希也 佐伯市立鶴谷中学校2年

私たちは臼杵守りたい(隊)!

木本 優芽 臼杵市立西中学校2年

地域と共に生きる

近藤 花虹 佐伯市立彦陽中学校1年

挑戦は楽しい!

城 綾音 臼杵市立南中学校3年(※大会欠席)

## 作品介绍

### 第46回「少年の主張大分県大会」最優秀賞

#### 心の言葉

宇佐市立宇佐中学校2年  
藏下 祥貴



「もうちょっと指を開いて」

「回す方向が逆だよ」

私は懸命に手指を動かしながら、講師の手を注視していました。

中学一年生の時、姉に勧められて市役所主催の手話講習会に一年間通い、手話と聴覚障害者の思いを学びました。学び始めた頃は指や腕を動かすことが難しかったり、ろうの方が表している言葉が分からなかったりと、本当に手話が理解できるようになるのか心配でしたが、一年間通う中で段々と慣れて、少しずつ分かるようになっていきました。講習会の中で私が嬉しいと感じたのは、ろうの方との手話を使ってのコミュニケーションが成り立ったときでした。自分の手話表現や言葉の言い換えに自信が無く、ドキドキしながら表して、通じた時は本当に嬉しかったです。

「私達聴覚障害者はかわいそうではなく不自由なだけなんですよ。」講習会で伝えられた私が一番心に残っている言葉です。私は、手話講習会に参加する前は、手話は「特別なもの」だと思っていました。私達健聴者は日常生活で手話を使うことはありませんし、誰もが分かるものではなく、ろうの方たちだけでコミュニケーションを取るものだと考えていたからです。しかし、手話講習会で学ぶにつれて段々と「手話」は特別なものではなく、「言語」だという事が理解できるようになっていきました。

ある日の講習会で聴覚障害者の二人が休憩時間に、話しながら楽しそう

に笑っている姿を見てハッとしました。なぜなら私は聴覚障害者の方達は自分の意思を伝える事だけで精一杯で、冗談などは言わないんだろうなと思っていましたからです。私は自分の中にある今まで気付くことのなかった偏見、間違った考えに気が付き、とても自分自身を恥じました。差別や偏見を持つ気持ちは無くても、自分の間違った思いや考えによって、「自分とは違う」、「私達とは違う」と差別や偏見の心が生まれるのだと思います。私は聴覚障害者の方、手話講習会講師の方達との出会いによって、とても大切な事を気付かせていただきました。聴覚障害者の方達も、私達健聴者と同じように冗談を言い合ったり、笑い合ったりするのです。講習会の時に、ろう者で講師の方が私に「この前、こんなことがあったんだよ。」と面白かった出来事を手話で話をしてくれて、私はとても面白くて大笑いしました。聴覚障害者の方と手話を通じて笑い合えたことがとても嬉しく、私にとって色あせることの無い出です。私はこれらの体験から、私達健聴者の言語と同じように、聴覚障害者の言語として手話があり、またそれを学ぶことによって壁の無い関係が出来ると思います。

大分県では、大分県と全ての市で手話言語条例が成立しています。これは手話での意見疎通のための環境を整備して、生きていくことが出来る社会の実現をめざして制定された条例なのだそうです。私達は同じ人間として、不自由な思いをしている方がいたら、合理的な配慮で助け合うことが大切だと思います。特に聴覚障害者は見た目では障害の有無は分かりづらいことはありますが、困っているのを見た時は、自分のできる範囲で寄り添うことが出来るようにしたいと思っています。その為にも私は今年、全国手話検定試験四級を受けます。そしてこれからも手話や障害者福祉について学んでいきたいと思えます。

私の言葉は届かなくても、きっと私の心は届く、心の言葉で心のつながりを。

## 大分県大会の様子



# 中学生・高校生ICTカンファレンス2024 in 大分

7月27日（土）、中高生がネットやスマホ、ICTの安心、安全な活用について自ら考え、議論する「中高生ICTカンファレンス2024 in 大分」が、で行われました。

今年のカンファレンスには県内19校から39名の中高生が参加し、「今、学生が考える生成AIとの付き合い方ー「誤情報・偽情報」を越えた活用方法を考えるー」をテーマに、学校の垣根を越えてグループ討議を行いました。

討議の後には、各グループから

- ・生成AIの効果的な使用方法
- ・生成AI使用に関する法律の制定
- ・生成AIの偽情報を見抜くために生成AIを利用する

といった様々な提言が発表され、有意義なものとなりました。

審査により県代表に選ばれた大分県立杵築高校1年・和田琥彦さんが、東京で行われる全国大会（11月3日予定）に出場します。



グループ討議の様子



大分県代表生徒 和田琥彦さん



提言発表の様子

## 第45回大分県少年の船運行事業「大分県少年の翼」

県では、青少年健全育成の一環として大分県少年の船運航事業を実施しています。今年度も、飛行機を利用した「大分県少年の翼」として8月2日～5日、3泊4日の日程で実施しました。

県内各地から小・中・高校生238人が班を結成し、沖縄県内で様々な体験活動に取り組みました。海洋研修や国際通りでは、沖縄の自然や文化を知り、ひめゆりの塔や大分の塔では戦争の歴史を学び、平和について考えました。また金武町の子ども達との交流会は、同年代の沖縄の子ども達と関わる大変貴重な経験となりました。

中高生班長・副班長が団員を支え、班で助け合いながら過ごした4日間に仲間との絆が生まれ、解団式の際には別れを惜しむ姿が見られました。参加した青少年が、豊かな体験を通して得た力を今後の社会生活で活かしてくれることを願っています。

**日程** 本研修 8月2日（金）～5日（月）

**場所** 沖縄県（那覇市、恩納村、糸満市、金武町）

**参加者** 小学生（団員） 190名  
中学生（副班長） 24名  
高校生（班長） 24名  
成人（スタッフ） 44名 計282名



大分の塔



海洋研修



金武町出会い交流会



ファイナルパーティ

# 県民会議加盟団体の活動

## 一般財団法人 みんがく

☆今年度新規加盟団体です☆

一般財団法人みんがく（旧みんなの学校）のキャンプカウンセラーは、県内の学生、社会人の専属ボランティアグループです。

子どもたちの自然体験活動をサポートするためにキャンプカウンセラーとして集まり、子どもたちと共に自然の中で成長する体験を提供しています。

月1回の研修とキャンプ活動を通じて、アウトドア活動やカウンセリング技術を学び、子どもたちの成長を支えることが目的です。

未経験者でも参加可能で、自然や人とのつながりを大切にしながら、実践的なスキルを身につける場となっています。

活動は今年で10年を超え、これまでに数多くの子どもの体験活動を作ってきました。

問い合わせ先 070-4480-1328



海でのキャンプにてたき火



自然体験研修

## 公益社団法人 ガールスカウト大分県連盟



70周年を迎えました



憧れのお姉さんと

少女と若い女性が、自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え行動できる人となれるよう、様々な体験活動を通じて育成しています。

就学前1年の少女から成人まで幅広い世代の女性がともに活動することで、コミュニケーション能力を養うことができることに加え、幼い頃からロールモデルとなりうる存在が身近にいる環境を提供しています。

県内各地で地域に根ざした活動を行っており、野外活動や奉仕活動だけではなく、SDGsをはじめとする世界的な課題にも積極的に取り組んでいます。

問い合わせ先 097-556-6808

## 公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟

公益社団法人日本ボーイスカウト大分県連盟は、大分県内におけるボーイスカウト運動を普及し、その運動を通じて青少年の健全育成に寄与することを目的に設立され、今年で75周年を迎えました。現在、県下では9の団で6歳から25歳までのスカウト・成人指導者約400名が活動しています。

スカウト運動の特徴は、「ちかい」と「おきて」の実践を通じて社会に貢献することを基本とし、異年齢の少人数グループに分かれて活動する「班制教育」と進級制度や技能章といった「進歩制度」を設け、野外での活動を中心に、青少年の自主的な取り組みを促す教育システムにあります。大分県連盟では、「社会に貢献できる、活動的で自立したスカウトを育てよう！」を事業スローガンとして、スカウトの育成や指導者の充実に向け研鑽しています。また、社会的信頼を高めるため「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび」や「全国防災キャラバン」を展開し、県下各地で多くの子どもの体験を通じた自然体験や防災をテーマとした「スカウト体験」で地域連携活動にも取り組んでいます。

問い合わせ先 097-529-7175



自然体験あそび



全国防災キャラバン

# 市町村民会議の取組

## 別府市（別府市青少年育成市民会議）



青少年育成市民会議総会



第1回別府っ子推進委員会

別府市青少年育成市民会議は、市内17の旧小学校区ごとに組織された校（地）区青少年育成協議会によって構成されています。全ての青少年が安全で安心な環境の中で心豊かにたくましく成長し、活力あるまちづくりの担い手になることを目指し、校（地）区間の情報交換・交流や全市的な啓発活動等に取り組んでいます。

今年度も青少年育成市民会議総会を行い、総会では、青少年健全育成活動を活性化していくために協力していただく「別府っ子推進委員」を委嘱しました。第1回別府っ子推進委員会では、各校（地）区の間取組状況を共有し、今年度のリーダー研修会等の取組について協議し、各種事業の実施を確認しました。

今後も「地域の子どもは地域みんなで育てる」という機運を高め、各校（地）区青少年育成協議会の連携と活動促進に取り組めます。

## 中津市（中津市青少年健全育成市民会議）

中津市青少年健全育成市民会議は、5つの支部（中津、三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国）から組織されています。それぞれの支部では、「青少年を心身ともに健やかに育てる」ことを目的に、地域の特色に合わせた活動を主体的に行っています。様々な取り組みがありますが、しめ縄づくりや校区内のごみ拾い、花の植栽やスポーツ大会、どんど焼きなど、三世代交流を促進する活動を行っているのが特徴です。

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動には、市内31小中学校で日常的なあいさつ運動に取り組んでいます。

また、年1回5つの支部から役員が集まる総会にあわせて、研修会を行うようにしており、令和6年度は、県の最重点課題に挙げられている「インターネット利用における子どもの性被害等の防止」について、中津警察署の刑事官から講演いただきました。



ひまわりの種まき



3世代交流軽スポーツ大会

## 佐伯市（佐伯市青少年育成市民会議）

佐伯市青少年育成市民会議は、市内20地区の協議会で構成されており、各地区が地域性を生かした計画を立て活動しています。

今年度は、通学路整備や安全安心パトロールのほか、番匠川水系独特の伝統漁法「鮎のちょんがけ」体験や田植え・稲刈り体験、郷土料理教室など子どもたちの自然体験と異世代間交流に取り組んでいます。

今年度の総会では、鶴岡地区が令和5年度に行ったクリスマスコンサートや工作教室などの活動報告を行ったほか、佐伯警察署による研修会（青少年の関わる事件などの現状について）を実施しました。

今後も地域全体で子どもを育てる「協育」を推進し、市教育委員会、PTA、警察等関係機関と連携を図り、青少年の健全育成に取り組んでいきます。



青山地区 鮎のちょんがけ体験



佐伯豊南高校でのあいさつ運動

# お知らせ掲示板

## インターネット利用に関する「家庭のルール」大募集！！



大分県のネット利用実態調査の結果では、

・インターネット利用の低年齢化 ・フィルタリング利用率の低下 ・ルールがある家庭の割合の低下

などが見られます。

子どもたちをネット犯罪等から守るためには、こどもと親が話し合っ「家庭のルール」をつくり、そのルールを守っていくことが大切です。

ただ、「どんなルールを作ればよいか分からない」という声があるのも事実です。

そこで、大分県青少年育成県民会議では、県民会議加盟団体や市町村民会議の皆さんが決めている「家庭のルール」を募集して紹介することで、各家庭のルールづくりをサポートできればと考えています。

皆さんの家庭で決めている

「インターネットを使う時間や場所、方法などに関するルール」

を教えてください！

応募はこちらのQRコードから⇒

※「大分の青少年」読んでいただいた方、どなたでもご応募いただけます



☆応募いただいたルールについては次号(No87-2)でご紹介します

## 自死遺児救済援護事業のお知らせ

大分県青少年育成県民会議では、自死遺児（自殺により親権者を失った児童生徒）を対象に入学・卒業祝い、修学旅行費補助等の援護活動を行っています。

対象は県内に居住し、県内の小・中学校又は支援学校の小・中学部に在籍する自死遺児です。

亡くなった親の性別等に関係なく、また、生計を担う者であったかどうかは問いません。

ただし、親の再婚や養子縁組等により新たに両親を得た者は除きます。

- 【援護（支給）内容】
- 新規自死遺児激励品（対象：新規申請者）
  - 入学・卒業祝い（対象：小学1年、小学6年、中学3年）
  - 修学旅行助成金（対象：小学6年、中学2年）
  - 家族ふれあい旅行費用助成（小学5年）
  - 文化事業・スポーツ見学助成（全員）
  - クリスマスプレゼント（全員）

【支給実績】令和5年度 27人（20世帯）

新規申請などのお問合せは、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】大分県青少年育成県民会議事務局 TEL：097-506-3080

## 県民会議会員団体・賛助会員募集

大分県青少年育成県民会議は市町村民会議をはじめ企業、団体等100団体で構成されています。

県内の青少年が地域や社会の一員として主体的に未来を切り拓いていく資質を身につけ、自立できるよう、「非行・被害防止と青少年の権利尊重の取組の推進」、「体験活動の推進」、「普及啓発と県民運動の推進」の3つを重点項目に掲げ、家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成県民運動の一層の推進を目指しています。そこで、この活動の輪をさらに広げるために、趣旨に賛同して一緒に活動に参加いただける企業や団体の皆様のご加入をお願いいたします。

参加申込書は、県民会議HPに掲載していますので、必要書類を記入のうえメール等でお申し込みください。（連絡をいただければ、郵送でもお送りします。）

詳しくは「大分県青少年育成県民会議」ホームページをご覧ください。

会費…正会員 年間3,000円

賛助会員 年間5,000円



(HPはこちら)